

## 運営委員会だより

◆研究所時代からのメンバーの一人である私は、運営委員の中でいつのまにか上から二番目の年齢になってしまった。そろそろ引退かなと思いつつなかなか止めることが出来ないのは、各委員のフォーラムへの愛着の強さと情熱を裏切れないという思いが強いからです。

運営委員会のなかで私が関係している「教育ネットワークぐんま」定例会議直近の報告の一部（4項目）を紹介します。

◆全国都道府県議会の中で自民党所属議員の議会占有率が非常に高い本県で安倍政権が強力に推進していた「育鵬社・自由社」の中学社会科教科書が今回も採択されなかったことを喜びをもって報告します。4年前の育鵬社版の全国採択率4%が6%へと伸びたものの彼らが目標とした10%に達しませんでした。今回、東京都大田区で不採択になったものの橋下市長の影響下にある大阪市教育委員会が現場の意向を無視し、強引に採択に踏み切ったことが採択率2%増の要因です。本県で4年後も今回のような不採択が継続されるよう監視していきましょう。

◆15歳人口の急減へ向けた県教育委員会が推進する高校統廃合の一環として二つの男女共学高校の誕生が新聞発表されました。新設校名称は未定ですが、富岡高校と富岡東高校、中之条高校と吾妻高校の統合による1学年6学級共学高校が2016年度より生徒募集を開始します。

## 運営委員 針谷 正紀

◆「生徒に鉛筆を何本持たせるかを学校全体で決める」とか「学年で同じ教材を扱う際の授業の導入とまとめ部分の板書事項を共通なものにする」とかが、特に義務教育の学校現場で実際に起こっているという報告に驚きます。実践の画一化は個々の教師から意欲と創造力を奪い、児童・生徒の成長と発達を阻害します。「教師の教育実践の自由の保障」という戦後民主教育の理念をもう一度思い起こしたいものです。

◆来年夏の参院選から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられるのを前に、文科省と総務省は、高校生が政治や選挙について学ぶための副教材「私たちが拓く日本の未来」（104頁）と教員向け指導書（96頁）を作成し、9月29日に発表しました。教員向けの指導書は「政治的中立性」を強調するあまり、指導の際にはしてはいけないことを列挙し、「教員が個人的な主義主張を述べることは避け、中立かつ公正な立場で生徒を指導する」ことを繰り返し強調しているため授業萎縮を引き起こすことが懸念されます。

◆毎回の運営委員会で最も刺激を受けるのが、意見交流の場です。ニュース今号の編集についての議論では、フォーラムとして「中身のある」戦後70年談話を表明しようと決まり、内藤さんに白羽の矢が立ちました。その結果の「内藤談話」を今回のニュースに掲載しました。いかがでしょうか。ご意見、ご感想を寄せて下さい。

## 今後の日程

- |                  |  |
|------------------|--|
| ・10月26日（月）14時～   | 原発と自然エネルギー研究部会（フォーラム）                        |
| ・11月1日（日）14時～    | 和太鼓を楽しむ会（教育会館中会議室）                           |
| ・11月6日（金）13時～    | スタジイ楽書会（フォーラム）                               |
| ・11月7日（土）13時30分～ | 子どもとメディア研究部会（フォーラム）                          |
| ・11月20日（金）13時～   | スタジイ楽書会（フォーラム）                               |
| ・11月28日（土）14時～   | 近現代史ゼミ『明治国家の「栄光」と「悲惨」』<br>会場は「ぐんま男女共同参画センター」 |
| ・12月4日（金）13時～    | スタジイ楽書会（フォーラム）                               |
| ・12月18日（金）13時～   | スタジイ楽書会（フォーラム）                               |

### 育ちと学び No. 26 ぐんま教育文化フォーラム

2015年10月23日 発行

〒371-0026 前橋市大手町3-1-10 群馬県教育会館3F

[TEL・FAX] 027-235-8876 [IP電話] 050-3419-3803

[E-mail] g-kyoken@nifty.com

[URL] <http://gkb-forum.sakura.ne.jp>

